出生届

平成 年 月 日届出

受理 平成 年 月 日	発送 平成 年 月 日					
第 号	第 号					
送付 平成 年 月 日	長印					
第 号						
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通知

(1) 生まれた子	(よみかた) 子の氏名	氏 名	父母との 続き柄	☐ 嫡出子 (☐ 男) ☐ 嫡出でない子 (☐ 女)
	(2) 生まれたとき	平成 年 月 日	☐ 午前 ☐ 午後	時 分
	(3) 生まれたところ			番地 番 号
	(4) 住所 (住民登録を するところ)	(よみかた) 世帯主 の氏名	世帯主との 続き柄	子
(5) 生まれた子	父母の氏名 生年月日 (子が生まれた ときの年齢)	父 昭和 年 月 日(満 歳) 平成	母 昭和 年 月 日(満 歳) 平成	
	(6) 本籍 (外国人のときは 国籍だけを 書いてください)	筆頭者 の氏名		番地 番 号
(7) 子の父と母	同居を始めたとき	平成 年 月	(結婚式をあげたとき、または、同居を始めた ときのうち早いほうを書いてください)	
(8) 子の父と母	子が生まれたときの 世帯のおもな仕事	☐ 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 ☐ 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 ☐ 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人 までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) ☐ 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の 契約の雇用者は5) ☐ 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 ☐ 6. 仕事をしている者のいない世帯		
(9) 子の父と母	父母の職業	(国勢調査の年…平成 年…の4月1日から翌年3月31日までに子が生まれたときだけ書いてください) 父の職業 母の職業		
その他	父母婚姻年月日 平成 年 月 日			
届出人	☐ 1. 父 ☐ 2. 法定代理人() ☐ 3. 同居者 ☐ 4. 医師 ☐ 5. 助産師 ☐ 6. その他の立会者 ☐ 7. 公設所の長			
	住所	番地 番 号		
	本籍	番地 番 号	筆頭者 の氏名	☐ (6)欄と同じ
	署名	印	昭和 年 月 日生	平成
事件簿番号				

嵐山町 Ranzan town

※この届出書のデザインは、嵐山町制施行50周年を記念して絵本作家 しばはら・ち氏の協力により作成されました。

記入の注意

鉛筆や消えやすいインクで書かないでください。

子が生まれた日からかぞえて14日以内に出してください。

子の名は、常用漢字、人名用漢字、かたかな、ひらがなで書いてください。よみかたは、戸籍には記載されません。住民票の処理上必要ですから書いてください。

□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。

筆頭者の氏名には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

子の父または母が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合は、新しい戸籍がつくれますので、この欄に希望する本籍を書いてください。

届出人は、原則として子の父または母です。届出人が署名押印したあと届書を持参する方は親族、その他の方でもかまいません。

◎母子健康手帳と届出人の印をご持参ください。

連絡先	電話 ()
	自宅・勤務先 []・携帯

出生証明書

記入の注意

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

子の氏名		男女の別	1男 2女
生まれたとき	平成 年 月 日	☐ 午前 ☐ 午後	時 分
出生したところ及びその種別	出生したところの種別	1 病院 2 診療所 3 助産所 4 自宅 5 その他	
	出生したところ	番地 番 号	
その種別	施設の名称 (出生したところの種別1~3)		
(11) 体重及び身長	体重 グラム	身長 センチメートル	
(12) 単胎・多胎の別	1 単胎 2 多胎(子中第 子)		
(13) 母の氏名		妊娠週数	満 週 日
(14) この母の出産した子の数	出生子(この出生子及び出生後死亡した子を含む) 死産児(妊娠満22週以後)	人胎	
(15) 1 医師 2 助産師 3 その他	上記のとおり証明する。	平成 年 月 日	
	(住所)		番地 番 号
	(氏名)		印

体重及び身長は、立会者が医師又は助産師以外の者で、わからなければ書かなくてもかまいません。

この母の出産した子の数は、当該母又は家人などから聞いて書いてください。

この出生証明書の作成者の順序は、この出生の立会者が例えば医師・助産師ともに立ち会った場合には医師が書くように1・2・3の順序に従って書いてください。